

研修参加報告書

令和 元年 11月 18日

会 派 名 公明党市議団
会派代表者 鈴木 貢

(参加者：鈴木 貢、野下達哉、石原資泰)
研修参加の結果について、次のとおり報告します。

①

年 月 日	令和 元年 11月 7日 (木)
研修時間	9 : 30 ~ 17 : 00
研修場所	鹿児島県霧島市国分体育館
研修内容	「防災とコミュニティ (基調講演、主報告、一般報告)」 講師： 志學館大学人間関係学部教授 原口 泉氏 鹿児島県霧島市長 中重真一氏 尚綱学院大学人文社会学群長 田中重好氏 広島県広島市長 松井一實氏 防災科学技術研究所火山研究推進センター長 中田節也氏

②

年 月 日	令和 元年 11月 8日 (金)
研修時間	9 : 30 ~ 11 : 50
研修場所	鹿児島県霧島市国分体育館
研修内容	「防災とコミュニティ (パネルディスカッション)」 講師： 追手門学院大学地域創造学部地域創造学科長 田中正人氏 専修大学人間科学部教授 大矢根淳氏 香川大学地域強靱化研究センター特命准教授 磯打千雅子氏 霧島市国分野口地区自治公民館長 持留憲治氏 静岡県三島市長 豊岡武士氏 和歌山県海南市長 神出政巳氏

研修参加報告書

①

年月日	令和 元年 11月 7日(木)
研修時間	9:30 ~ 17:00
研修場所	鹿児島県霧島市国分体育館
研修内容	「防災とコミュニティ(基調講演、主報告、一般報告)」 (講師:別紙参照)
■目的 第81回 全国都市問題会議 「防災とコミュニティ」へ参加して、様々な先進事例、行政と住民とのコミュニティのあり方を学ぶため。	
■内容 ○開会式:挨拶 立谷相馬市長、中重霧島市長、三反園鹿児島県知事 ○基調講演 志学館大学人間関係学部教授 原口 泉氏 「鹿児島の歴史から学ぶ防災の知恵」 ○主報告 鹿児島県霧島市長 中重真一氏 「霧島市の防災の取組」 火山防災 ○一般報告 ・「災害とコミュニティ:地域から地域防災力強化への答えを出すために 尚綱学院大学人文社会学群長 田中重好 ・「平成30年7月豪雨災害における広島市の対応と取組について」 広島県広島市長 松井一寛氏 ・「火山災害と防災」 防災科学技術研究所火山研究推進センター長 中田節也氏	
■所感 今回の鹿児島開催という場所から、火山防災の話が中心でしたが、「コミュニティをどう捉えるか」という話の中で、全国の自治体ごとの経験を横に結ぶこと、つまり全国の自治体の実験的に試み、成功、あるいは失敗した地域防災力への取り組みを全国の自治体の共同の経験にしていくことが、地域からの防災力強化が実現する近道という話に大変共感しました。	

研修参加報告書

②

年月日	令和 元年 11月 8日 (金)
研修時間	9 : 30 ~ 11 : 50
研修場所	鹿児島県霧島市国分体育館
研修内容	「防災とコミュニティ (パネルディスカッション)」 (講師 : 別紙参照)
■目的 第 81 回 全国都市問題会議 「防災とコミュニティ」へ参加して、様々な先進事例、行政と住民とのコミュニティのあり方を学ぶため。	
■内容 ○「防災とコミュニティ」 コーディネーター1名とパネリスト6名によるパネルディスカッション ◇市民と行政の信頼関係・協力関係をつくる ・一斉訓練、重点地区防災訓練 ・地域コミュニティ連絡会、避難場所運営会議、ジュニアレスキュー、チャリンコ隊 etc ・地域の課題をともに考える ◇あるものを使う、一步踏み込む ・土手の花見、小学校の体育倉庫、4世代で歩く、中高生による安否確認、ラクビー部、オフロードバイク ・住民協議会 (防災に限らない身近なテーマ) 地域の施設=避難所→日ごろの活用 メニューの読み替え (クレーム対応、ホテルの防災訓練) ◇自助・共助・公助の三分論を溶かす ・人と人が直接接点を持つ場面 (ケーブルTV→スマホの活用) ◎連携の手がかり=身近、日常、あるもの、人と人	
■所感 防災とコミュニティの関係について、新たに何か組織であったり、ルールを設定するのではなく、まずは今の身近にある様々なアイテムを使っていく事により、今後の課題への対策の手がかりが見えてくると感じました。	